

凡例	
広葉樹林	
針葉樹林	
広葉樹・針葉樹混交林	
竹林	
田	
畑	
果樹園	
茶畑、桑畑	
荒地、空地等	
建物の密集地	
居住地(低層住宅)	
樹木に囲まれた居住地	
公園・緑地等	
学校	
野外運動施設	
工場、発電所、変電所	
道路、鉄道	
内水面	
湿地	
干潟	
砂礫地	
護岸、堤防	

1:25,000

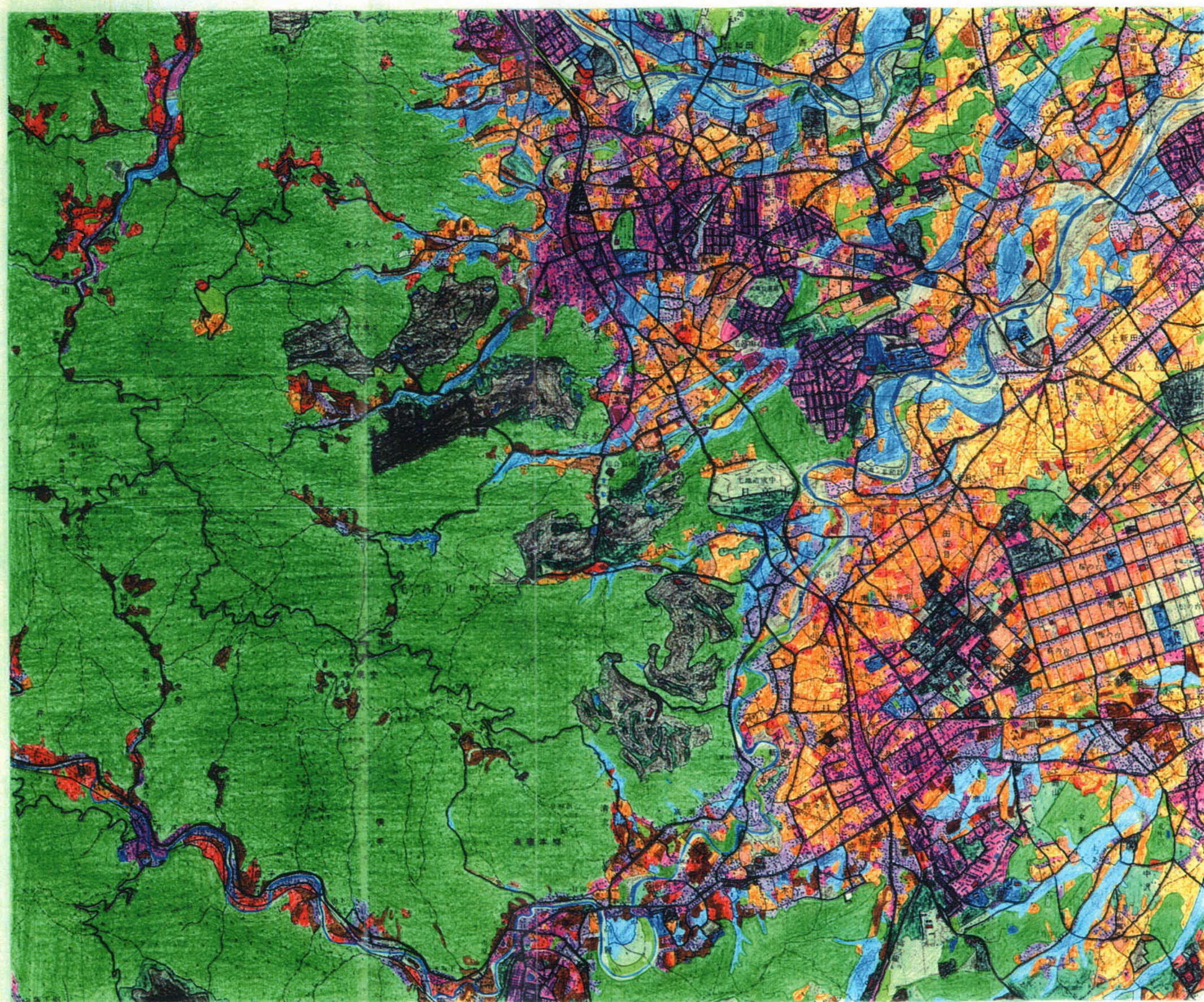


図 1-7-1 土地利用図(埼玉県)

表 1-8-1 大規模な開発・計画

事業の種類	事業名称	場所
ゴルフ場開発	ウィルソングolfクラブジャパン 鶴ヶ島コース造成事業	越生町根久津（大高取山北斜面）
	飯能グリーンカントリークラブ造成事業	飯能市小瀬戸
土地区画整理	上野東特定土地区画整理事業	越生町東武越生線武州唐沢駅北側
	武州長瀬駅南口土地区画整理事業	毛呂山町東武越生線武州長瀬駅南側
	一本松土地区画整理事業	板戸市東武越生線一本松駅周辺
	武蔵高萩駅北土地区画整理事業	日高市ＪＲ川越線武蔵高萩駅北側
	高麗川駅西口土地区画整理事業	日高市ＪＲ八高線高麗川駅西側
住宅地造成	毛呂山ニュータウン住宅地造成事業	毛呂山町簗和田
	飯能日高住宅地造成事業	日高市西武秩父線高麗駅南側
土地改良総合整備	団体営土地改良総合整備事業	毛呂山町沢田（越辺川橋周辺）
工業団地造成	毛呂山工業団地造成事業	毛呂山町西大久保（毛呂山高校南西）

１－９．人口の推移の状況

広域モニタリング調査地域の人口分布図を図 1-9-1 に、年代別人口を表 1-9-1 に示した。

人口は、東部の台地・丘陵帯に集中した。西部の低山帯にも分布したが、高麗川およびその支流と、越部川およびその支流に沿った地域に限られた。

昭和 60 年と平成 2 年とを比較すると、夜間人口が 9,278 人(約 11%)、昼間人口が 5,565 人(約 7%)増加した。また、昼間人口より夜間人口の増加が多いことから、この地域のベッドタウン化が加速した。平成 3 年には日高町と鶴ヶ島町が人口の増加により市になったことや、新しい団地の建設が行われたことなどが原因と考えられた。夜間人口、昼間人口ともに、東武越生線と JR 八高線沿いの増加が著しく、逆に西部の山地では減少傾向にあり、山間地域の過疎化と駅周辺の人口集中という両極端な現象が確認できた。

夜間人口と昼間人口を比較すると、当該地域全体では夜間 96,991 人に対し、昼間は 86,497 人と 10,494 人少なく、全体的にはベッドタウン化が進んだと言える。

地域別に見ると、北東部の城西大学やその北部にある工場団地、JR 八高線の毛呂駅西部の毛呂本郷などで昼間人口が著しく高かった。逆に東武越生線の武州長瀬駅周辺の長瀬団地、その南部にある毛呂山台団地、JR 八高線と川越線が交わる高麗川駅周辺では夜間人口が多かった。このように東部の人口集中地域で、住宅地開発に伴うベッドタウン化と、工場団地や大学などの誘致による夜間人口の空洞化という、両方の現象が見られた。

表 1-9-1 広域モニタリング調査地域の人口推移（埼玉県）

調査年	昼間人口	夜間人口
昭和 50 年		68,555
昭和 55 年		
昭和 60 年	80,932	87,713
平成 2 年	86,497	96,991

単位：人

